

大学と地域をつなぐ スーパーサテライトオフィス(SSO)

地域住民・自治体・学生・教職員が集う場所として、美馬市と美波町に開設しています。専門の地域連携コーディネーターを配置し、地域活性化・地域教育の拠点として、また大学と地域をつなぐ窓口として展開しています。



スーパーサテライトオフィス 実施内容

南部SSO 美波町

(徳島県南部総合県民局美波庁舎1階)

地域産品の共同開発(開発・試食・アンケート調査)
 展示会の垂れ幕文字揮毫
 アート展の作品提案・制作
 地域イベントへの学生団体の参加・出店
 竹林コンサートの会場整備・ステージ設営
 地域ビジネス学習

西部SSO 美馬市

(美馬市脇町市民サービスセンター(旧脇町庁舎)1階)

地域イベントへのボランティア派遣
 商品開発への協力・アドバイザーの紹介
 地域産品のレシピ開発・パッケージデザインへの協力
 観光交流企画(アイデア提供・ポスター等のデザイン提案)
 地域施設の壁面アート・ホームページ等の制作サポート
 農業体験合宿への学生参加・実施支援

先進的地域貢献大学を目指して



地域教育・連携センター[SUDAchi推進室]

〒771-1192 徳島県徳島市応神町古川
 Tel.088-665-9953 Fax.088-665-9983
 E-mail.sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

2016年2月発行

SUDAchi Project NEWS Letter

SUDAchi Project NEWS Letter

No.3 2016.2

SUDAchiプロジェクト 地域志向型教育研究・SSO(スーパーサテライトオフィス)の 活動報告 [2014-2015]



SUDAchiプロジェクトとは?

[SUDAchi]=Shikoku University Dream Achievement: 四国大学夢実現
 全学的な推進組織の体制を整備し、地域課題の解決に向けたカリキュラムの
 充実を図り、特色ある「地域貢献型人材」を育成します。

大学COC (Center Of Community) とは?

大学と地域社会が連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献
 を進める「地域のための大学」を支援することで、地域コミュニティの中核的存在
 として大学づくりを目指すものです。

『地域志向型教育研究』の展開

四国大学では、これまでも、美馬市での「美馬市観光交流センター事業」や県南地域での「地域がキャンパス推進事業」などに代表される地域での取組みを各分野で広く展開してきました。これらを発展させ、大学COC事業では、「地域志向型教育研究」を学内公募し、平成26年度10件、平成27年度11件を採択し、地域活性化と地域課題解決の中で、地域貢献型人材の育成学生・教職員が一体となって学内外で活動しています。その中からいくつかのプロジェクトをご紹介します。



四国大学
マスコットキャラクター
しこぼん



阿波みかん発祥の地 勝浦町で学ぶ農家の課題解決 ～体験を通じて地域活性化を考える～

学生がみかん農家に出向き、作業の手伝いや聞き取り調査を通じて、農家や地域が抱える問題について考え、解決するための手法を学びました。

研究代表者

中岡 泰子(生活科学部 生活科学科)
服部 大輔(生活科学部 生活科学科)
有内 則子(生活科学部 生活科学科)



持続可能な発展のための地域MICE誘致 ～三好市の四国酒まつりにおける事例～

急激な参加者の増加に課題を抱える地域イベントである「四国酒まつり」のイベントの問題解決やボランティア活動を通じて、地域貢献型の人材育成を目指しました。

研究代表者

服部 大輔(生活科学部 生活科学科)
中岡 泰子(生活科学部 生活科学科)
有内 則子(生活科学部 生活科学科)



地域の就学前児童への 英語読み聞かせプロジェクト

大学内施設や学外施設を利用して、地域の児童にむけて英語でパペットシアターやヴァレンタイン・コンサートを開催しました。

研究代表者

スザンネ バロッグ(文学部 国際文化学科)
田中 裕子(生活科学部 児童学科)



避難シミュレーションを通じた、 ボランティアコーディネーター育成プロジェクト

地域の避難所に指定されている大学施設を活用し、避難シミュレーションの活動の中で、必要とされるボランティアセンターの運営と災害ボランティアコーディネーター・地域リーダーとしての能力を身に付けました。

研究代表者

フェネリー マーク(文学部 国際文化学科)



大学と訪問看護師が協働で進める 技術研修を通じた学生への意識改革の試み

大学の恵まれた環境を現場の訪問看護師に解放し研修を実施して地域貢献をはかるとともに、この研修に学生を参画させ、協働して学ぶことで地域に貢献できる人材としての意識付けをおこないました。

研究代表者

佐藤 千津代(看護学部 看護学科)
富田 真佐子(看護学部 看護学科)
渡部 光恵(看護学部 看護学科)



美馬市観光交流センター事業推進研究

地域おこし協力隊と協働しながら、美馬市の伝統技術である和傘作りの伝承活動と県西部における藍の普及活動を推進するとともに、学生の提案による地域に根ざした様々な商品開発に取り組み、地域貢献と地域活性化に取り組みました。

研究代表者

有内 則子(生活科学部 生活科学科)
坂野 美恵子(生活科学部 生活科学科)
瀬部 昌秀(生活科学部 生活科学科)



舞台表現をベースとした 地域活性化人材育成プログラムの開発に関する研究

地域活性化を目指したダンスの創作と地域に広げる活動を通じて、イベントを運営しうるスタッフとしての資質と地域を支えていく教育者としての資質の両面を伸ばしました。

研究代表者

田村 典子(生活科学部 児童学科)



寺院文化財調査研究スタッフ 育成プログラムの開発

数多く存在する寺院文化財を発見することにより地域振興・観光振興に力を発揮できる調査研究スタッフの育成を目指しました。

研究代表者

須藤 茂樹(文学部 日本文化学科)
會田 美(文学部 日本文化学科)



過疎化が進む徳島県西部地区の 医療・福祉を担う次世代の人材育成 ～看護学部生によるキッズナースの育成～

中核地域病院と連携して、近辺の小中学生を本学に招き、学生によるキッズナース事業を展開することで、地域の人材を確保するとともに学生の地域医療への理解を深めました。

研究代表者

橋本 茂(看護学部 看護学科)
小川 佳代(看護学部 看護学科)